

御宿台

Onjukudai-ku News

2005 秋号

No. 22

区運営委員会編集・平成17年10月1日発行



「夕暮れの網代湾の向こうに遠く御宿台を望む」

写真と文：中村 文次 (401-03)

リゾート分譲地の宿命なのだろうが、御宿台分譲地も「定住者」と「別荘所有者」が混在しており、その事がコミュニティ形成を難しくしているように思う。こうした条件下にありながら、御宿台区運営委員会の方々が住民生活の向上に向けて様々な施策に取り組まれていることに感謝を申し上げたい。

既にこの欄でも、「御宿シルバータウン構想」(No14)などの具体的な提言や活動が紹介されてきたが、実情からみても御宿台分譲地の将来構想に「高齢者対応」を念頭に置く事は大賛成である。ハードの面からみても、御宿台は「高齢者・障害者対応」という点で進んでいるほうだが、それでも細かに見れば、段差の解消や敷石・舗装素材の再検討、歩道整備(雑草が歩道を浸食している)など分譲地内のバリアフリー化を更に推し進めることがのぞまれる。

ソフトの面では、住民同士による相互互助組織「御宿台サークルCoCo」(No.16で紹介されている)が病院送迎や犬の散歩など、「さざんかの会」が高齢者へのお食事会を実施するなどの活動を定着させつつあることは喜ばしい。これに加えて、今後の課題となるのは「高齢者介護」ではないかと考える。加齢によって生ずる「介護」の問題は避けて通れない。時代はもはや自分たちで出来ることは自分たちで対応する「老々介護」が現実味を帯びている。B&G海洋センターが実施している転倒予防等の健康教室を御宿台集会所へ出前実習してもらったり、「介護方法」の基礎を学ぶ講習を定期的に設けるなど、身近な問題として組織的に関われるように整えておこななら、「介護」をひとりで抱え込まずに、住民相互の扶助体制で問題に対処していけるのではなかろうか。

小暮 公男 (331-10)

御宿台区の動き

御宿台の防災を考える懇談会開催

御宿台の防災を考える懇談会が、平成17年7月23日(土)13時30分から集会所で開催されました。

当日は、運営委員、町役場総務課職員、西武不動産販売渡辺所長、一般参加者20名の出席がありました。

運営委員より、御宿台における防災対策の概要についての説明があり、その後意見交換に入りました。

「火災の初期消火」と「情報の収集伝達」「その他」について活発な意見が交わされました。

こうした懇談会を通して、ここ御宿台で、非常事態が起きた場合、個人、家族、御宿台区、の取るべき対応を考えていきたいと考えています。

今号も別紙にて防災についての記事を集めましたのでご覧ください。



熱心に意見交換が行われました

御宿台納涼祭開催

平成17年8月4日(木)夕方から、御宿台中央公園噴水広場で御宿台納涼祭が開催されました。

御宿台朝市のお店が、夕涼み市として参加、その他キッズコーナー、屋台等賑わいをみせていました。バンド演奏のもとビールを傾げる人もあり、好天の中、沢山の人が夏の夕べを楽しんでいました。



家族連れで賑わいをみせる

特集<トピックス> について

秋季号は次の項目を別紙に特集しました。

特集 1 御宿台の防災対策 その2

特集 2 病虫害防除について

お知らせ

「御宿台歩こう会」の
記念誌発行される

御宿台のクラブ活動の中で歴史があり、多くの方々が参加してきた「御宿台歩こう会」が10年目にはいりました。会では、10年を節目として今までの活動記録をひとまとめた記念紙を作りました。

部数には限りがありますので、興味のある方は会員、知人の方に見せてもらってはいかがでしょうか。御宿台住民の生活の流れ、歩みがわかるのではないのでしょうか。



立派な記念紙が出来上がりました

昭和女子大によるアンケート実施される

昭和女子大によるアンケートが、御宿台の定住者で区画番号から無作為に抽出された方々に対して、9月12日(月)から16日(金)まで実施されました。

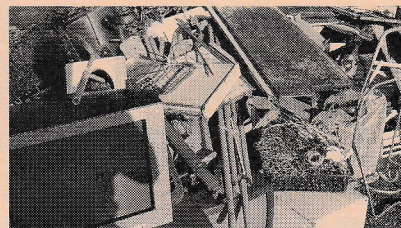
これは、シルバータウン的な御宿台での生活実態をいろいろな角度から研究するための調査でした。調査に当たった学生さんたちは、住民の皆さんがどなたも温かく親切に対応・協力してくださったことに、たいへん感激していました。

同大学では、他の類似の地域でも同様な調査を行っており、今回の調査研究結果は後日まとめられ、お知らせくださることです。

私たちの街を客観的にみつめられる良い機会とおもわれます。

ゴミの分別処理の乱れが目立ちます

ごみ置き場とその周辺の乱れが目立ちます。夏季は特に乱れが目立ちました。中でも粗大ゴミの不法投棄が目立ちます。中には、テレビ・冷蔵庫などの電化製品やバイクなども！粗大ゴミは町の処理場への直接持ち込み(有料)が原則です。



お互いに気をつけたいものです。もし、違反者を発見したら西武または運営委員までお知らせください。

集められた粗大ゴミの山です

三二情報

8月31日現在

御宿台開発状況

売却済分譲地：1,161区画 建築中：11戸

建築戸数：765戸 定住届出：355戸

乗合バスの利用

6月/531人 7月/637人 8月/674人

いすみの歴史散歩 (3)

—大原町八幡岬—

岬町の太東崎から大原町の八幡岬までの砂浜海岸は、小九十九里と呼ばれ、気候が温暖で風光明媚なところから江戸時代より近代にいたるまで、多くの文人墨客が訪れた。

そうした文人のひとり江見水陰は、『講談倶楽部』の大正7年正月号に、「海中桜」という小説を発表した。これは戦国時代の海城である小浜城（現在の八幡神社の場所）を舞台とした城の攻防戦に、村娘の恋の鞘当てをからませた悲恋物語である。

水陰は、大原町小浜の大原海岸でひと夏を過ごし、漁船の出入りのための漂漂として用いられている桜が、根をきられ海中に浸かったままで花を咲かせる不思議な現象に出会って、小説の創作意欲をかきたてられたのである。「はだか祭り」として全国に知られる大原の秋祭り（毎年9月23・24日）の祭り唄にも、「小浜一 横浦一度はおいで 根の無い桜に花が咲く」という一節がある。大原では昭和初期まで漂漂として桜を用い、その根を切られ海に埋けられた桜が3年ものあいだ花を咲かせたという。夷隅郡市自然を守る会では、4回にわたって海中桜再現実験を行い、根のない桜が海中で花を咲かせることを実証している。

今年の秋は、大原町小浜の八幡岬にでかけたい。さわやかな秋風の中で、中世城郭の小浜城跡を歩き、戦国時代の正木氏と鎌田氏の攻防に思いを馳せるもよし。海中桜から知ることのできる江戸時代の海と里山の民の交流を偲ぶのも楽しい。また、八幡神社境内から太平洋を臨み、安積良斎の漢詩や矢代東村・若山牧水らの短歌そして花月館貞雄の俳諧などが私たちの眼前に迫ってくる様子を愛でるのも興味深い。

(茂原市文化財審議会委員
各務 敬)



平成10年の再現実験で見事に花を咲かせた海中桜

サークル紹介

【野菜作りの楽しみと仲間たち】

最近御宿町が募集した市民農園が隣接し、遠くに草を食む牛が三々五々見渡せる長閑な風景の中に私達の菜園があります。土を耕し、野菜の不思議に感嘆する御宿台の仲間巡りに巡り合えた場所です。

糧にしなければならない農家の人達と違い、私達は、有機、無農薬といった非効率なことにも果敢に、そして気楽に挑戦できます。また、珍しいものや、スーパーでは売っていないような野菜に挑戦できるのも魅力なのです。

しかし、野菜を作るということは、天候にも左右され、病気や害虫との闘いを甘受し、辛い労働も楽しいものにするか、心の余裕がないと長続きしないと思います。

「農業は奥が深いよ」という老農夫の嘆息を肝に銘じ、体力の許す限り、真摯に、楽しみながら、仲間の輪が広がるよう野菜を愛でていきたいと思っています。

(342-08 大住 泰史)

ちよつとひと言

● 散歩で気になること

こんにちは。終の棲家と決めてここ御宿台に引っ越してきて、もう少して1年になります。四季折々、御宿台の中を散歩しまくっております。

そうです。趣味はお散歩、特技はウォーキング！こよなく御宿台の環境が好きな1人です。

ところで、散歩の途中で時々気になることですが、ここ御宿台にはトイレがありません。おばあちゃんが遊びに来た時に「御宿台はいいとこだけど家の近くしか散歩できないよ」と言っていました。もっと散歩したいけど、トイレがないことが心配で足を延ばせないようです。散歩は腰や膝のリハビリに良いだけではなく、おしゃべりにも花が咲き、ご近所同士の情報交換にもなります。ちよつと足をのばせば、きれいな庭や自然いっぱい御宿台。でも腰や膝が痛い時は、走って家に帰ることは出来ません。もっとこの素晴らしい環境いっぱい御宿台をトイレを気にすることなく安心して散歩を楽しみたい。元気にウォーキングがしたい。おしゃべりもしたい。あそこにトイレがあるから大丈夫、雨やどりもできる、こんな心のゆとりがあれば、もっと御宿台での生活も楽しくなること間違いなし！だと思いますが如何でしょうか。(330-01 本巢 通子)

最高級そばと地酒の店

そば処

竹むら

☎68-8888

くつろぎの館

創作料理

宗苑

☎68-8887

海

御菓子司

海月堂

製造発売元

御宿町須賀572

☎68-2345

一人前より 出前迅速

うぶぎ 鶴丸

高山田 高校前通

☎68-4867

ペンション・中華レストラン

チャイナ

出前 承ります!!

☎68-2920
ニクニ

本
格
手
打
の
店
本
粉
は
国
産
石
臼
碾

上布施

☎68-5220

◆ 夢の序章

何気なく見ていた通勤電車の中吊り広告。「御宿グリーンタウンかあ、旅行がてら行ってみるか」。これが私と御宿との出会いだった。案内された物件は、まさに私の理想そのもの。ここだ！直感した。日頃から衝動買いの多い私の提案に妻は当然反対するであろう。と思いきや意外(?)にもあっさりとOK!の返事。

「あら、いいじゃない。決めたら?」と、逆に追い立てられてしまった。1週間後にはもう申込み済の看板が立っていた。

やはり、衝動買いか、それとも妻にけしかけられたのか?!

あれから2年、御宿に移り住んで5ヵ月。夢の生活は始まったばかり。やりたいことは山ほどあるが、時間が足りない。

まあ、焦ることはない。定年後の忙しい自分を想像し、にやけるのも悪くはない。「波の音を聞きにこないかい」、こんなキザな台詞を口に出したくなる街、御宿。大好きな自然を味方につけて、一度きりの人生を大いに楽しんでしまおう。(241-04 佐藤 三敏)

◆ 再びよろしくお祈いします

やまぼうしに登場するのは2度目になります。最初は5年程前、当地に移り住んで間もなく、家族の紹介などをさせて頂きました。この度、私の退職を機に、家族全員それぞれ新しい生き方を探すことになり、家内は、長年培ってきた料理の腕を活かし、人に喜んでもらえる仕事がしたいと言う事で、自宅を改造して、家庭料理の店「だんらん」をオープンしました。

以前にも、飲食関係の仕事をしていたのですが、人と人の間に入り、なかなか思うようなサービスを提供できないストレスを感じていました。

どうせ生き方を変えるなら、『一期一会』知り合った方々や、ふれあう方々と楽しい時間を過ごしたい、美味しいものを食べ、笑顔と喜びにあふれた時間を、1人でも多くの方たちと共有したい、そんな気持ちの再出発です。どうぞよろしくお祈いします。(106-12 だんらん 松谷)

やまぼうし

区民の談話サロン

◆ 夢の実現

御宿台に定住して、9月で丁度2年になります。現役時代、定年後いつかはどこかでリゾート暮らしを夢見ていました。

気候が温暖で、海が見え、好きなゴルフが出来、出来たら温泉も近くにあったらなど、欲張ってあちらこちら探し歩き御宿台に来ました。散歩で会う人毎に、「今日は」と挨拶を交わすのは都会に無い、とても気持ちの良いものです。御宿台ゴルフの会、歩こう会などの団地の会に参加し、地元の方の民謡の伴奏を趣味の尺八で演奏など、楽しさいっぱいです。

御宿の良さを歌で表現したいと思い、「御宿旅情」と言う曲を作詞・作曲してNHKに送ったところ、今年の4月にラジオで放送されました。もしご希望ならCDがありますのでご連絡下さい。歌詞の1節です。

青い渚の砂浜で 月の沙漠を口ずさみ 波のしづきを見渡せば
かもめ遊ぶよ御宿の海 (331-09 岩澤 淳一)

◆ 田舎暮らしを御宿で?

田舎暮らしを夢見て藤沢から家族三人、昨年9月に越してきました。藤沢での生活とは異なり、時がゆったりと、静かに過ぎていくのを感じています。

ようやく我家の息子(7才8ヵ月、犬種ダルメシアン、名前ケイン)も広々とした散歩コースにおちつきが出て来て、楽しんでます。

私の友人達は、この地を終の地を選んだ理由がどうしてもわからないという。しかし来た人達は、開口一番「外国へ来たよう!」と、とても気に入ってくれ、一安心しました。

美しい緑の木々、芝、各家々の個性的な庭に咲く花々。人々の暖かい眼差しと自然に出る挨拶。なんといっても食材の新鮮さとおいしさ、安さは申し分なく思っています。

これからの生活に早く慣れるよう、いろいろなクラブに参加させてもらい、毎日充実した日々を楽しく過ごしています。

(218-03 秋山 克子)

編集後記

御宿台広報の誕生は、平成8年4月に御宿台親睦会から「御宿台親睦会だより」として第1号が発行されたのが始まりです。それ以来、読者の皆様方に支えられ、10年間の歩みの中で広報担当者の努力もあり、通算39号を迎えることができました。これ

も偏に、読者の皆様方の「ご理解とご協力」に
よるものと厚く感謝を申しあげます。次号は、
節目の通算40号となります。記事は、「ちよつ
とひと言」「サークル紹介」「やまぼうし」
等の掲載欄に原稿をお寄せくださることをお
願いします。

(加藤 一輝)

区運営委員会委員

鈴木 正也	会長	210-13	68-6961
塩入 健次	環境・衛生	109-02	68-2789
唯山 利朗	渉外	122-02	68-7168
加藤 一輝	環境・衛生	211-09	68-5755
立石 興世	総務	214-01	68-7248
野口 正義	広報・記録	214-03	60-2888
宮田 成隆	会計	230-07	68-7822
小林 英輔	渉外	319-10	68-5482
滝川 泰	環境・衛生	333-05	68-5540
佐伯 光一	環境・衛生	405-12	68-6360

トランシーバーとブロック制

御宿台の防災対策 ～その2～

前号に引き続き、御宿台の防災計画の素案について報告します。

御宿台の住民防災組織

1. 御宿台区の100番街区～400番街区の4区では広すぎるので、8ブロック編成とする。

・100番街区	A・Bの2ブロック	} 各ブロックには防災対策委員（仮称）を置き、 運営委員は自動的に兼務する。
・200番街区	A・B・Cの3ブロック	
・300番街区	A・Bの2ブロック	
・400番街区	1ブロック	

2. ブロック内の連絡網のありかたは、各ブロックの自主性に委ねる。

一次避難場所等も各ブロックが定める。

トランシーバーによる情報交換

役場の災害対策本部からの情報は、御宿台区の対策本部（西武営業所内を予定）に伝えられ、御宿台区からの情報は、御宿台区本部が一本化して役場本部に報告する。

- 役場本部と御宿台対策本部間に周波数を特定したトランシーバーを用意し、情報交換専用とする。
- 御宿台対策本部と各ブロックの委員間もトランシーバーで情報交換可能とする。

災害が発生したときは

- 自分と家族の安全を確認し、ガス栓を止め、電源を切る。
- 外の様子と隣近所の安全を確認する。
- 異常があれば防災対策委員に連絡する。

非常事態の場合は、お互いの助け合いが大切です。阪神大震災の経験でも明らかです。気が動転して物事が上手く進まないのので、第三者に助けを求めることが最善です。

また、初期活動はバケツリレーや家庭用消火器による消化が限度です。道路に埋め込まれた消火栓を開いての消火活動は二次災害を発生させる危険があります。

水・食糧について

水と食糧の心配は不要です。断水の場合は、消火栓を開ける、給水塔から取る、最悪の状況でもラビドール裏の池水を濾過する装置が整備されています。緊急米は、農協、周辺農家より調達が可能です。

以上のことを踏まえて、御宿台の防災マニュアルを作成することになります。

ご意見がございましたら、運営委員会までお知らせください。また、全体のまとめは12月を目標とし、完成は平成18年2月中旬を予定しています。

病虫害防除についてのご理解を！

平成9年春より、運営委員会が希望者を取りまとめて業者に作業を委託する病虫害防除が開始されました。現在では、年間200戸以上の申し込みをいただくまでになり、皆様方の期待と信頼に応えるべく、今後も業者との打ち合わせや事務作業に取り組んでまいります。

近年、この病虫害防除について、多くのご意見が寄せられるようになりましたので、今一度、作業についてのご理解を深めていただき、今後のご協力をお願いしたいと思います。

作業の目的

主に山茶花などつばき科の樹木を好む茶毒蛾を駆除します。個々のご家庭がばらばらに業者に依頼するよりも、近隣で一斉におこなうことで駆除効果を高めます。また、業者の作業コストが安くすむため、安価にサービスを提供できます。

薬剤の効果

散布した薬剤が茶毒蛾の幼虫に直接かかったり、薬剤の付着した場所を通ると殺虫作用があります。薬剤は散布後2～4時間で乾燥し、多少の降雨があっても、効果は4～5日間持続します。

Q & A

Q. 垣根の虫が生きています。

A. 特定の害虫、病気にのみ効果がありますので、樹木についているすべての虫が死滅するわけではありません。ただし、ご要望が多いため、今秋実施の作業から、幅広い害虫に効果のある薬剤を使用しました。

Q. 散布した形跡がないのですが。

A. 以前は高濃度の薬剤を散布していましたが、環境や薬害を考慮して、近年は濃度を薄めにしていきます。臭いや見た目の形跡は残らない場合がほとんどです。

Q. 在宅中に作業をおこなってほしいので、事前に作業時間を知りたい。また、雨天時の順延についての連絡がない。

A. 一括して作業をおこなう都合上、個別のご要望すべてにお応えすることはできませんのでご了承ください。趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。なお、作業の一週間前には、掲示板に作業予定を掲示いたします。

その他

毎年申込用紙を配布していますが、散布場所の番地が未記入の方が多数いらっしゃいます。別荘の方は当然ですが、定住の方でも、きれいな字ではっきりと記入してください。散布場所を間違えるトラブルなども発生しています。